

疫神信仰にみる



平成五年度企画展

子供と疫子犬

赤物（埼玉県浦和市）



●講演会／「酒吞童子の原像」
●本館学芸員による展示解説

—— 都に疫病をもたらした疫病神 —— 滋賀大学教育学部教授 高橋昌明氏
八月八日 午後二時～午後三時三十分 当館講座室
八月二十二日 午後二時～ 当館特別展示室

祈りと願



■観覧料

大人 五〇〇円（四〇〇円）
高年生 二五〇円（二〇〇円）
小中生 一〇〇円（八〇円）

（ ）内は二〇名以上の団体割引料金



麻痺後の養生

■吹田市立博物館

吹田市岸部北四十一番〇六―三三八―五五〇〇

■平成五年八月一日～八月二十九日

■開館時間／午前九時三十分～午後五時 ■休館日／毎週月曜日



はしかまじなひおしえ宝

健康を保つということは、われわれにとって永遠のテーマの一つです。歴史を顧みましても、その時代時代で人類は様々な病気に悩まされてきました。なかでも疱瘡・麻疹・コレラなどの疫病が多くの人々の生命を奪い、大変恐れられた時代はそれほど遠い過去のことではありません。

短期間に多くの生命を奪う流行病にたいする当時の人々の恐怖は、今日、私たちの想像の及ぶところではないでしょう。

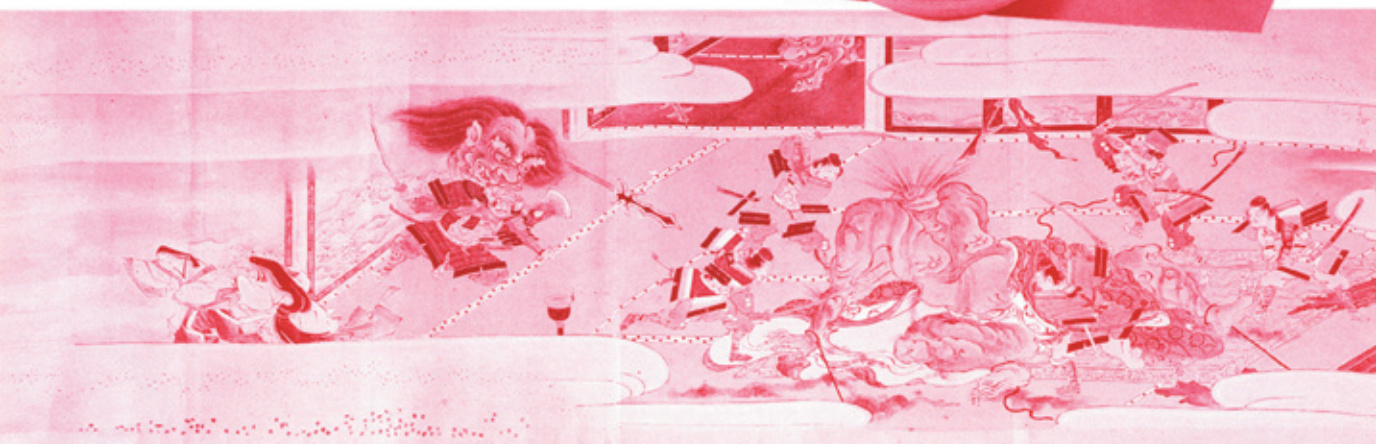
「疫神信仰にみる祈りと願い」

平成五年度企画展



連鹿と犬、猿

狸々
(滋賀県草津)



大江山鉦巻

■交通案内

JR岸辺駅下車徒歩20分

阪急吹田駅から桃山台駅前ゆき、千里中央ゆき、山田櫻切山ゆき

バス「五月が丘」下車徒歩8分

阪急山田ゆき、摂津ふれあいの里ゆきバス「岸部」

下車徒歩10分

阪急南千里駅からJR吹田ゆきバス「五月が丘」下車徒歩8分



ことに子供の生命に関わる人が多い病気だけに、親たちは神や呪術などにもすがってわが子の健康を祈りました。これらの疫病からのがれたい、できるだけ軽くしたいという人々の気持ち、疫神信仰となり疱瘡絵やはしか絵、疫病除けの郷土人形などの品々を生み出したといえます。

このような人々の健康にたいする祈りと願いがこめられてきた品々を御覧いただき、科学的な医療が浸透する以前の疫病に対する人々の受けとめ方や、健康に対する考え方なども垣間見ていただければ幸いです。



麻疹を軽くする傳